

会議録（要点筆記）

会 議 名	令和5年度 第2回米原市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和5年9月29日（金）午後7時00分から午後9時00分まで
開 催 場 所	米原市民交流プラザ（ルッチプラザ） 2階研修室
出席者および 欠席者	出席者：大谷委員長、上田副委員長、谷口（絹代）委員、川崎委員、日置委員、 河地委員、角川委員、福永委員 事務局：生涯学習課 平山課長、中村補佐、吉田主事 欠席者：谷口（嘉之）委員、北澤委員、富田委員、布施委員
協 議 事 項 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上半期の活動報告について</li> <li>・社会教育委員会議における協議テーマの選定について</li> </ul>
結 論 (決定した方針等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議テーマについて</li> </ul> <p>今回のテーマは、「<u>米原らしさがいきる学びの場づくり</u>」とし、今後研究、議論を進めていく。</p>
協 議 経 過 ・ 概 要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開 会 ※半数以上の委員が出席のため、本会議の成立を報告</li> <li>2 委員長あいさつ</li> <li>3 上半期の活動報告について <ul style="list-style-type: none"> <li>○前回会議の振り返りについて事務局から説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回会議では、協議テーマについて、今後の会議において選定していくことを確認した。</li> </ul> </li> <li>○近畿地区社会教育研究大会について事務局から説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月8日（金）に立命館大学びわこ・くさつキャンパスにおいて開催され、全体会では、上田副委員長が講師として基調講演を行われた。</li> </ul> </li> <li>○愛荘町との意見交換会について事務局から説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月25日（金）に米原市役所本庁舎にて愛荘町社会教育委員との意見交換会を開催した。</li> <li>・各市町がそれぞれの取組について発表を行い、その後、グループワークにて情報共有および意見交換を行った。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>4 社会教育委員会議における協議テーマの選定について <div style="border-left: 2px solid #00aaff; border-right: 2px solid #00aaff; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>案1 市民参加の促進と市民－行政の協働を考える</li> <li>案2 古民家の活用</li> <li>案3 図書館を考える</li> <li>案4 地域共生の学びの場について</li> <li>案5 過去の提言は今</li> </ul> </div> </li> </ol>

委員長) テーマ選定について何か意見はあるか。

委員) 問題は何か、問題を解決するために何をすべきかを整理してやっていくことで、ゴールが見えてよいのではないか。

委員長) まずはテーマを決めて、委員の意見や分析の中で問題点や解決策を見つけていく形をとりたい。

委員) 図書館が気になる。次世代のつながり構築に向けてのツールの一つとして、図書館はよいのではないか。

委員) 図書館は本のラインナップが豊富であるのに、子どもも大人もそれに気づいていないのがもったいない。

また、学校教育で大きな課題は不登校である。今後も数は増えていくと予想され、学校だけではどうにもならない。社会の受け皿が充実していくと、子どもは助かる。そういったところを研究、還元していきたい思いがある。

委員) 様々な取り組みを行っていく中で、地域共生の視点が持てればよいと思っている。自分のまちのことに関わろうとする人が昔より少なくなっていると感じる。何もかも行政にお願いする時代ではないので、暮らしをよりよくするために市民参加は重要だと思う。

委員) 市民参加の促進や人とのつながりという面では、過去の提言について再度考えるのもよいと思う。

委員) コミュニティ・スクールとの関連性も含め、図書館の役割は大きいと思う。地域の方との関わり、つながりも育てられるのでは。

副委員長) 子どもや社会にとって、幸せな学びの形はどんな形なのかを考えていくに当たり、学びを担っていく場所や力、人にフォーカスしていくのが重要である。また、協働は目的ではなく、結果として協働しているということであるため、活動をした結果、協働していればよい。

委員長) 意見を聞いていると、それぞれのテーマ案には関連性があり、波及しているように感じる。それぞれのテーマ案を包括したようなテーマ、方向性にするのはどうか。

副委員長) 事務局の考えはあるか。

事務局) 今年度、生涯学習課では試行的に図書館や学びあいステーションの情報を一つにまとめて学校等に発信したところ、大きな反響があった。居場所づくりの面から見ても、すべてのテーマは共通項があり、古民家で業が始まったり、図書館をクールスポットとして利用したりしている。このような取組を皆さんと考えていけたらと思う。

副委員長) ルッチ大学の学生講義では、大人のための場づくりをテーマにしたものが多い。単なる場ではなく、居場所や、ともに育つ場所として考えていくのがよい。

委員長) 例えば、「地域共生のための社会教育」など大テーマを決めて、そこに小テーマ(協働、古民家、図書館、地域共生、過去の提言)を入れ込んで考えていくのはどうか。

副委員長) 「場」というワードを入れるとよいのでは。

委員) テーマ案のすべてが「学びの場」であるので、「学びの場」というワードを発展させてテーマとしてはどうか。学びの場を追求することが社会教育ではないか。

委員) 子どもの自己肯定感や自己有用感を上げていこうという機運が高まっている。要は子どもに元気がない原因は大人に元気がないことだと思う。大人が自分の仕事以外に生き生きと活動している姿を子どもに見せられるような社会に変えていかないといけない。

委員長) 「学びの場」を軸にテーマを大項目に考えてはどうか。

委員) 「未来を形作る学びの場」や「未来を見据えた学びの場」といった感じはどうか。

副委員長) 未来を見据えた学びの場は、各地に少しずつ芽が出てきている。足元に存在する未知のものをどう拾っていくかが重要である。

委員) 自分に合った学びの場を探し、研究していくのはどうか。

委員長) 「こんな学びの場がある」ということを市民の皆さんにお知らせす

るというやり方もある。

副委員長) 所在地やそれぞれの場所のつながりを周知するなら、マップ化するのが一般的な手法である。

事務局) 「学びの場～未来マップ～」のようなイメージはどうか。

委員) ただ、そういった居場所づくりは、基本的に人材も資金も足りず、非常に苦勞して運営されている。それを社会教育委員が単なるお客さんとして知るだけでよいのかという懸念がある。マップで一覽にして知ること重要だとは思いますが、その先の展開も少し考えておきたい。

副委員長) そういった実情や状況を学んで、どのように考えるか、支援していくかをさまざまな人に指南していくのも一つの社会教育である。

委員) 漠然としたものを研究していくのか、前回と同様に教育委員会に提言書を提出するのか、最終的なビジョンを確認しておきたい。

委員長) 前は、会議や研究を進めていくうちに意見が出てきたため、提言書という形で報告を行った。その前の2年間は、活動報告のみとなった経過がある。社会教育委員は小さなことをコツコツとやっていけばよい。

副委員長) 社会教育委員は、提言を必ずしも行う必要はない。前回、前々回は、社会教育委員がテーマについて知らなければ、提言も報告もできないので、まず知ることから始めた。その後の流れ次第で、提言になるのか報告になるのかは変わってくる。

副委員長) 社会教育委員にそれだけの影響力があるのかは分からないが、意見が言える立場であるので、教育委員会に様々な実情を伝えることはできる。今回の議論で一番話題になった図書館から始めて、地域共生に広げて行くのもよい。個々の事象をつなげていくのも社会教育である。

委員) やはり、地域共生の観点から、小さなことからでも学びの場を始められている所にフォーカスし、加えて人材にも働きかけていくことについて調査報告ができればいいと思う。学びの内容は人によって違うため、図書館に限らず、様々なところを取り上げてみてはどうか。

	<p>委員) 調べだすと非常に膨大な量になると思われ、情報を受け取る側も困るのではないかという懸念がある。</p> <p>副委員長) それも研究を進めながら、調整していけばよい。図書館だけで終わってしまうかもしれないし、まずは軽く調べていく形でよいのでは。</p> <p>委員長) それでは、意見を総合して、今回は学びの場を調べて知り、マップ化していくという形でよろしいか。</p> <p>事務局) 詳細な内容は今後固めていくこととし、キーワードとして、「米原らしい学びの場」とし、今後進めていくのはどうか。</p> <p>委員長) 事務局の提案があったが、どうか。 → 一同了承。</p> <p>委員長) 今後の進め方等については、事務局と相談し、随時連絡させていただく。本日はこれで終了とさせていただく。</p> <p>5 副委員長あいさつ 本日のこれまでの議論を総合して、「<u>米原らしさがいきる学びの場づくり</u>」という大テーマを提案させていただく。参考にさせていただきたい。</p> <p>6 その他 ○事務局より研究会および配布図書の説明</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	---

会議の公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等: ) <input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等: )
全部記録の有無	会議の全部記録 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無    録音テープ記録 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
担 当 課	生涯学習課 (電話 53-5154、内線 2144)